

参考資料2 厚生労働省「2021年 結核登録者情報調査年報集計結果について」  
一部抜粋

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095\\_00007.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00007.html)



文字サイズの変更 標準

御意見

テーマ別を探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・E

ホーム> 政策について> 分野別の政策一覧> 健康・医療> 健康> 感染症情報> 結核(BCGワクチン)> 2021年 結核登録者情報調査年報集計結果について

## 2021年 結核登録者情報調査年報集計結果について

### 2021年 結核登録者情報調査年報集計結果について

当該年報は、2021年1月1日から同年12月31日の間に、新たに登録された結核患者及び潜在性結核感染症(LTBI)の者と、2021年12月31日現在に登録されているすべての登録者に関する状況について、感染症サーベイランスシステム(NESID)上の結核登録者情報システムに全国の保健所から入力されたものを、「結核登録者情報調査年報」として取りまとめたものである。

～表ごとの解説～

#### 【表1 諸外国と日本の結核罹患率について】

2021年の結核罹患率(人口10万対)は9.2であり、前年と比べ0.9減少し、結核低まん延国となった。

日本の結核罹患率は、米国等の先進国の水準に年々近づき、近隣アジア諸国に比べても低い水準にある。

2021年の結核罹患率の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられる。

#### 【表2 結核罹患率の都道府県別おもな順位について】

都道府県別の結核罹患率(人口10万対)は、長崎県、大阪府、徳島県、沖縄県、愛知県の順に高く、山梨県、秋田県、岩手県、長野県、福島県の順に低くなっている。長崎県の結核罹患率は13.5であり、最も低い山梨県の結核罹患率4.3の3.1倍となっている。

#### 【表3 結核の死亡数及び死亡率の年次推移について】

2021年の結核による死亡数は1,844人(概数)で、前年の1,909人に比べ65人減少している。死亡率(人口10万対)は1.5で前年と同じである。